

十三小学校研究推進便り

10 月 3 日（金）、5 時限目 第 4 回の研究授業。

5 年 「食物アレルギーについて考えよう」 植村 優子 学級

<研究授業参観に当たって>

前年度は、食物アレルギーについて学ぶことを中心とした研究授業でした。今年度は、さらに学んだ知識をもとに、自分たちで食物アレルギーから身を守る活動を取り入れた授業となっています。子どもたちが、安全な食品を選択できるために、効果的な授業方法であるかを検証していきましょう。

<研究授業では、つぎの視点でみてください>

食育の観点から

- ① 食物アレルギーについて正しく理解しているか。
- ② アレルゲンの入っている食品を避けるゲームを楽しみながら理解を深めることができたか。
- ③ アレルギーをもった場合の工夫や注意点に気づくことができたか。
- ④ アレルギーに対して悪いイメージをもたなかったか。

言語活動の観点から

- ① 班で話し合っているいろいろな食品を選ぶことができたか。
- ② 食品を選んだ理由、選ぶときに困ったことなどをアレルゲンという観点に基づいて具体的に発表することができたか。
- ③ 発表を聞くことで自分なりに意見をもつことができたか。

<授業参観後の討議会について>

ワークショップ型の討議会を行います。グループと参観時の役割については裏面で確認してください。

<植村先生のつぶやき>

いろいろな食品の表示を見たときに、子ども達はすぐに「アレルギー表示」があることに気づいていました。「食物アレルギー」という言葉はほとんどの子どもが知っており、子ども達の身近にあるようです。「食物アレルギーってなんだかこわいな…」「自分がなったらいやだな…」「食物アレルギーをもっている子はかわいそうだな…」と、思っている子どもも多く、どうやって楽しく「食物アレルギー」について学ぶことができるかな…というのが、私にとっての大きな課題です。

今回は、ゲームを通して「食物アレルギーを起こさない食品を選ぶ」という学習をします。「食物アレルギー」に対する意識が「正しく対応すれば大丈夫なんだな」となってくれることを望んでいます。

ただし、時間との勝負になりそうです。